

地域名 木島平村 池の平地区
 特徴的な被害対策 簡易型電気柵を中心とする集落ぐるみ対策と安心農業の実現による集落の活性化

1 地域の概要

	集落戸数	加害鳥獣	被害農作物等	備考
	うち農家			
11	7	ツキノワグマ、イノシシ	飼料用トウモロコシ、野菜	

2 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> 当該農地は、山林に囲まれており以前からクマ、イノシシによる被害は甚大であった。 野生鳥獣被害対策チーム発足以前から関わりがあり、この間に研修用電気柵を使った研修と、設置面積拡大に向けた検討を重ねてきた。 H19年度から集落全体を囲う形で電気柵の設置を検討してきたが、集落での合意形成に至らず一時は頓挫しかけたが、対策チームやクマ対策員の必死の説得により有志での取り組みとなり、H20年度には集落の全てをほぼ囲むことができた。 	
被害対策	生息環境対策	緩衝帯整備 <ul style="list-style-type: none"> 農地周辺にある村有地の森林整備を村で実施。 柵の設置にあたって、作業性の向上も兼ねて、農地周辺の藪を集落で刈払った。
	防除対策	簡易型電気柵 L=3,000m <ul style="list-style-type: none"> 比較的安価にできる対策を検討し、簡易電気柵を選定。 クマ対策員の助言、指導により、住民、役場、クマ対策員、対策チームで図面上での確認と現地での確認、検討により設置場所を決定。 集落での維持、管理、補修等ができるよう指導。 全戸の総意とはいかなかったが、半数の合意を得て、協力体制を作り実施。
効果	被害状況	被害は格段に減少したが、クマにより3箇所突破された。
	その他特記事項	柵を突破し、畑の中に居ついたクマについて、大型獣の捕獲技術の高い他地域の狩猟者の指導により犬を使った捕獲を試みた。
住民の方からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> 昨年よりも被害は少なかったため助かった。延長の長い柵なので維持管理が大変で不安な気持ちもあるが必要性は感じている。 	

3 これからの課題

失敗した事柄	電気柵設置後、斜面地のラインが弱かったことや、ラインの高さを全てチェックできなかったことから3箇所突破された。
これからの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度は突破されないように柵を改善・チェックすることが課題であるが、延長が長いので万全を期することができるかが今後の不安材料となっている。 ・ 柵を突破し、畑の中に居ついてしまったクマへの対応。

4 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害対策支援チーム	
---------------	--

5 問合せ先

北信地区野生鳥獣被害対策チーム

(長野地方事務所林務課 電話0269-23-0215)

被害対策に向けた打合せ・事前調査の状況

	
事前調査、検討	柵の線形検討

被害対策の実施状況

	
集落ぐるみでの柵設置 (事前打合せ)	集落ぐるみでの柵設置

